

## 中期経営計画

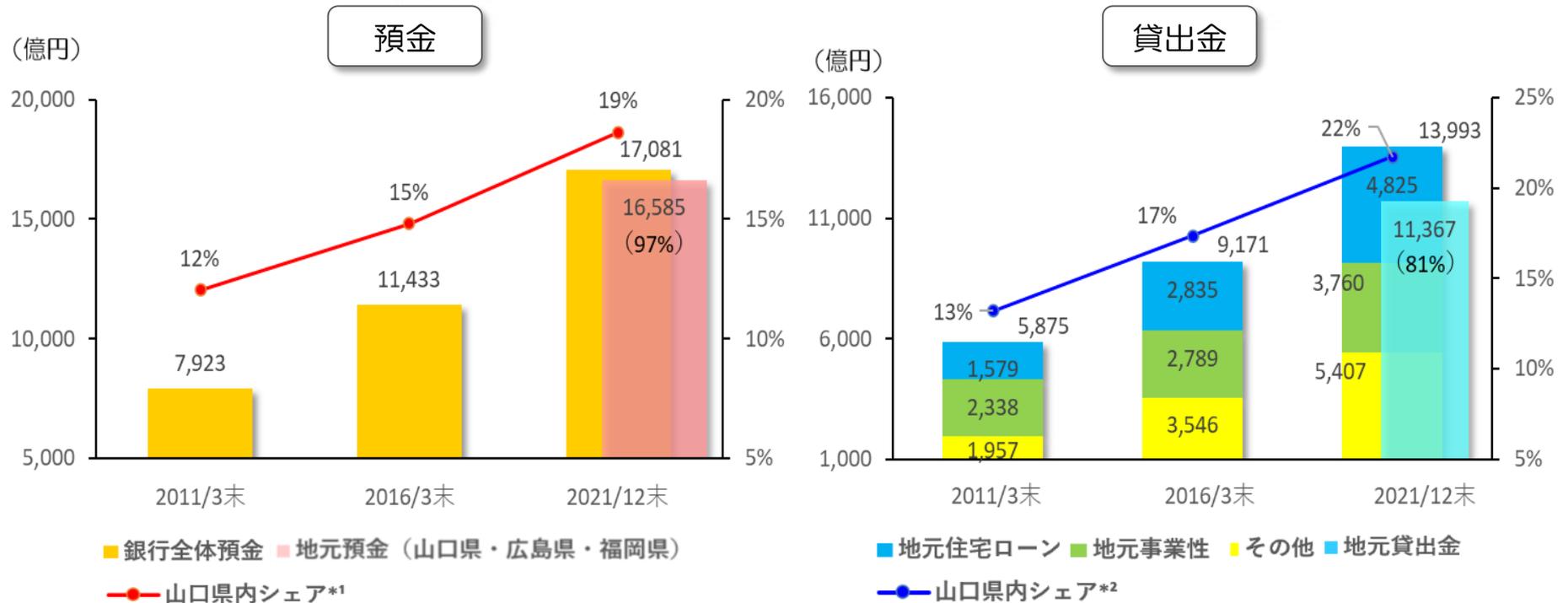
～ 一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを ～

2022年4月

株式会社 西京銀行

# 1. この10年の取組みの成果 — 資金の地域内循環

- 当行は、この10年、地元（山口県・広島県・福岡県）のお客さまからお預かりしたご預金を、資金を必要とされる地元の事業者さまや個人のお客さまにお使いいただく「資金の地域内循環」を進めた結果、**預貸金残高は倍増以上、山口県内シェアも大幅に上昇しました。**



\*1.2 出典：手形交換所データ

## 2. 『2兆円銀行』を目指す！

- 当行を取り巻く外部環境は、引き続き、主たる営業エリアである山口県の人口減少、高齢化が進展し、地域経済、地域産業は中長期的に厳しさが増すことが予想されます。
- こうした環境下、当行は、この10年間の成果を活かし、引き続き、長期ビジョンである「**地域に根差した中小小規模事業者さまと個人のお客さまのための銀行**」の実現に向け、「**さすが西京**」の商品・サービス提供を通じ、さらに地域シェア拡大を進め、存在感を増すことで、地域のお役に立つ銀行を目指します。

**長期ビジョン**  
**地域に根差した中小小規模事業者さまと  
 個人のお客さまのための銀行**

### 外部環境

- ① 気候変動
- ② 人口減少による市場縮小
- ③ 高齢化の進展
- ④ 新型コロナウイルス対応の長期化

### 中期経営計画

『一人でも多くのお客さまに「さすが西京」  
 のサービスを』  
 (2022.4～2025.3)

**『2兆円銀行』を目指す！**

より地域のお役に立つために、シェアを  
 拡大し、存在感を高める3年間

### 経営課題

- ① 気候変動対応、環境保全
- ② 地域経済活性化への貢献
- ③ 地域社会の課題を解決する人材の育成
- ④ 地域のお役に立ち続ける経営基盤の確立

この10年の成果

**1.7兆円銀行**

(山口県内預貸金シェア20%)

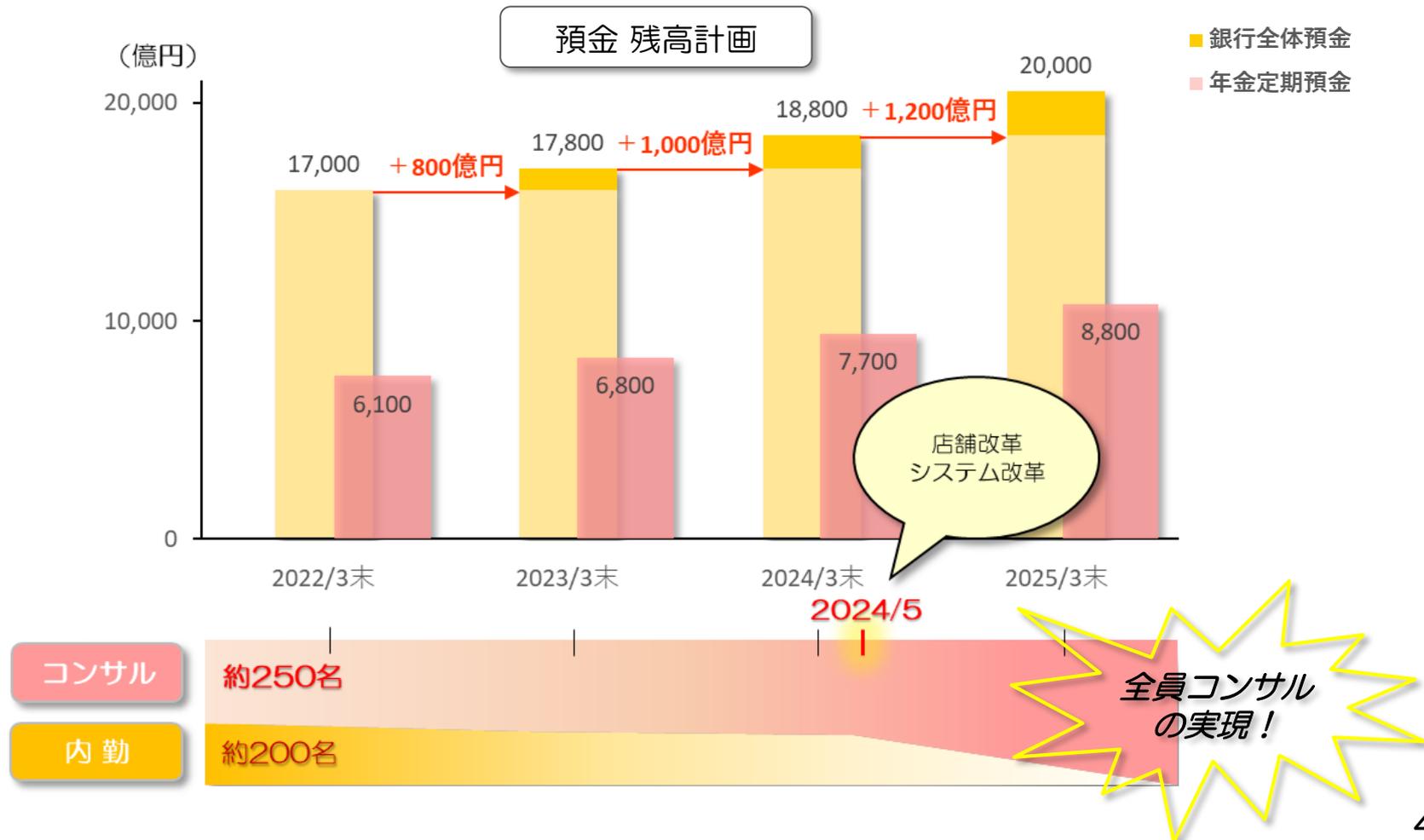
### 3. 中期経営計画のコンセプトと業績目標

- 本中計でも、引き続き、『一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを』をスローガンに掲げ、長期ビジョンの実現に向けた取組みを加速します。

長期ビジョン	地域に根差した中小小規模事業者さまと個人のお客さまのための銀行	
スローガン	一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを	
中計目標	2兆円銀行を目指す！	
中計期間	2022年4月～2025年3月（3年間）	
業績目標	① 預金残高	2兆円 以上（地元中心）
	② 貸出金残高	1.6兆円 以上（地元中心）
	③ 当期純利益	60億円 以上

## 4. 預金等資産運用戦略 — 地域経済の活性化に貢献する

- 高齢化の進展する山口県を中心に、シルバー富裕層の資産運用ニーズにさらにお応えするため、これまでご好評をいただいていた年金定期の商品性を強化します。
- また、2024年5月をめぐりに、店舗改革、システム改革を実現し、銀行事務を省力化し、お客さまの資産運用等のご相談業務を行うコンサル人員を増強します。



# 5. システム改革、店舗改革 — 環境保全

- 2024年5月、勘定系システムを日本ユニシスのクラウド版「Bank Vision ®」に移行します。
- 新システムの導入により、営業店の「事務レス」と「完全ペーパーレス化」を一気に加速させ、全店を「環境配慮型」&「コンサルティング型」店舗にリニューアルします。

## 新システム・新店舗の機能



1. 後方事務や役席承認事務のセンター集中機能

→ お客さまスペース拡張



2. 窓口業務の約90%がタブレットで完結

→ 伝票レス・ペーパーレス取引を実現

3. キャンペーン情報等をデジタルサイネージから発信

→ チラシ類の削減、完全ペーパーレス化の加速

	削減枚数	削減率
伝票 帳票類	約150万枚	約80%
チラシ ポスター	約60万枚	約90%



営業店は「事務処理現場」から「コンサルティング現場」に!



## 6. アイザワ証券共同店舗事業 — 地域の課題を解決する

- 2015年に包括的業務提携を開始したアイザワ証券と、2019年に、銀証共同店舗をスタート。
- シルバー富裕層、事業経営者、医療経営者等資産運用ニーズのある地元富裕層のお客さまからご好評をいただき、現在、4店舗を展開。今中計期間中に、さらに2店舗増やし、山口県全域での展開を目指します。

銀証共同店舗配置図



銀証共同店舗の外観  
(周南支店)



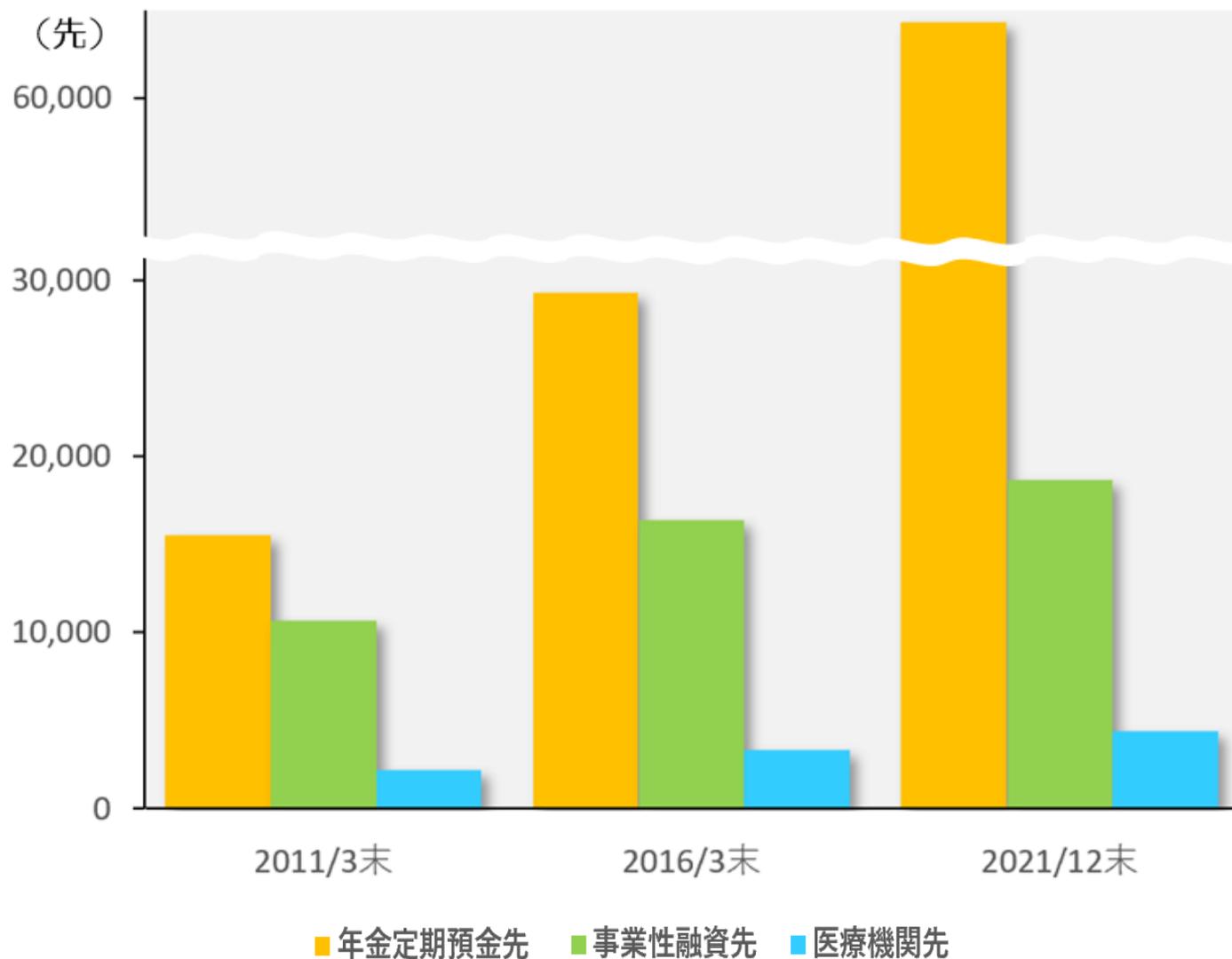
お客さまロビーに設置した  
「アイザワ証券  
コンサルティングプラザ」  
(本店営業部)

### 新設時期

- ① 宇部支店・・・2022年度中
- ② 岩国支店・・・2023年度中

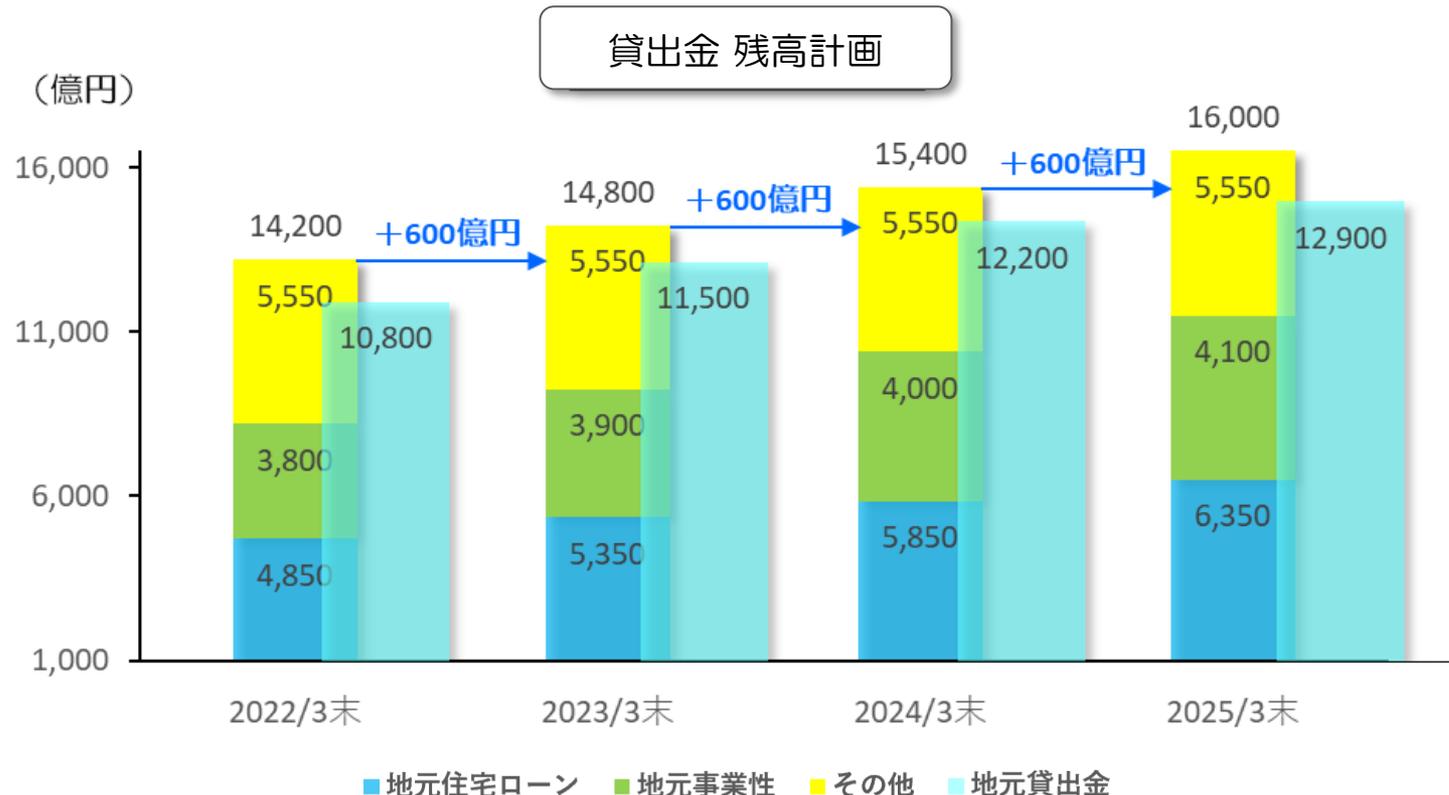


(参考) 年金定期預金・事業性融資・医療機関 のお客さま数の推移



## 7. 融資戦略 — 地域経済の活性化に貢献する

- 山口県を中心とする地元の中小小規模事業者さまの新型コロナウイルス対応、影響克服に向けた取り組みを主に資金面から、全力でお手伝いするため、新たに『法人営業部』を新設します。
- 高齢化先進県の山口県の医療サービス充実を目的に取り組んできた医療機関の開業支援等コンサルティングサービスを行う『メディカルサポート室』の対象エリアを福岡県、広島県に拡大します。
- 山口県、福岡県、広島県の個人のお客さまの住宅の取得等をお手伝いするため、ローンセンターを中心に、さらに、大手ハウスメーカーや地場工務店等の提携を拡大します。
- 以上の取り組みを通じて、貸出金残高年間600億円純増を目指します。



## 8. 新サービスの展開 — 地域の課題を解決する

- 地元の中小規模事業者さまにおける人手不足・人財不足が深刻化する中、こうした課題の解決に取り組むために、2020年12月、『ビジネスコンサルティンググループ』を立ち上げました。
- 地元IT事業者や人材サービス事業者等とのアライアンスを通じて、事業者さまのDX・IT化や、外国人人材を含む人財サポート等、具体的なソリューション提供するとともに、専担部署の人員も順次拡充することで、行内のノウハウ蓄積や人財育成に積極的に取り組みます。

### 1. 人財サポート

#### ① 外国人人材の採用サポート

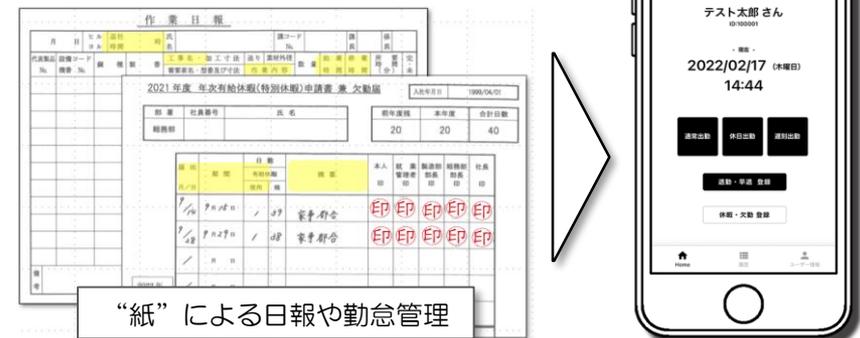
- 地元人材紹介事業者7社とアライアンス
- これまでに地元企業100社超、学生500名超をマッチング。多数の就職を実現

#### ② 地域人材の育成と地元就職率の向上

- 2021年9月、有料職業紹介事業免許取得
- 周南公立大学生の就職サポート事業に着手
- 地元企業 80社超から採用ニーズを集め、多数の学生が地元企業に内定
- 2022年4月、「インターンシップサポート事業」を開始。山口県内大学に展開予定

### 2. DX・IT化サポート

- 業務効率・生産性および、企業価値の向上につながるIT構築をサポート
  - 勤怠・文書管理システム
  - 企業HP、PR動画 etc



“紙”による日報や勤怠管理

- 地元IT事業者等とのアライアンスにより、これまでに約20件のソリューションを提供

### 3. 会計・人事業務受託

(2022年4月～)

- 西京銀行グループ会社をはじめとして、「経理・決算」「人事・給与」といった地元企業のバックオフィス事務の受託業務を開始



4月1日に公立化された  
「公立大学法人  
周南公立大学」  
(旧 徳山大学)

## 9. ACT SAIKYO — 地域経済の活性化に貢献する

- 「認定特定非営利活動法人 ACT SAIKYO」は、2010年4月に創部された S/Jリーグ所属の女子実業団バドミントンチームで、所属選手10名は全員 西京銀行の行員です。
- 「山口県をバドミントン王国に！」を合言葉に、スポーツを通じた地域経済の活性化に貢献するため、今後もさまざまな活動を展開します。

### 1. バドミントンの普及とジュニア世代の育成

#### ①バドミントンクリニック

- 地元小学生向けに、選手が直接技術指導
- 累計133回開催し、延べ約7,000名が参加



「バドミントンクリニック」の様子

#### ②ACTアカデミー

- 地元中学生を対象に、2019年4月に開講
- アカデミー卒業生5名が在籍する県立柳井商工高等学校が、「全国高等学校総合体育バドミントン大会」で春・夏連覇の快挙！

### 2. 地域企業の情報発信・認知度向上

- 選手がスポンサー企業を訪問し、動画撮影
- 製品やサービスの情報をYouTubeで発信



### 3. 山口県から世界へ！



- 斎藤夏選手が「第75回全日本総合バドミントン選手権大会」混合ダブルスの部で優勝！

# 10. TCFD提言への賛同表明 — 気候変動対応



TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES



- 気候変動が地域のお客さまや当行に及ぼすリスク・機会を把握・分析し、地域金融機関として低炭素社会の進展に貢献するために、2021年9月、「TCFD（気候変動関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しました。
- 「TCFD提言」を踏まえ、気候変動対応に関する取組みを積極的に推進して行きます。

## 1. お客さまと取組む環境保全

- 2021年10月より、紙の通帳を利用しない「無通帳口座」を推進
- 若年層を中心に多くのお客さまにご賛同いただき、直近では18歳以上50歳未満のお客さまの約8割が無通帳口座を選択



スマホアプリで口座の残高・履歴を確認

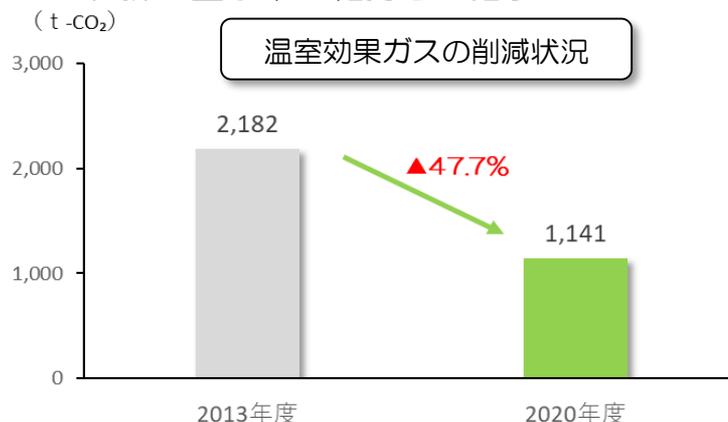


## 2. 気候変動対応関連投融資の推進

- グリーンボンドや再生可能エネルギー関連投融資等、気候変動対策に資する企業やプロジェクトへの資金支援を継続
- 2021年12月末：投融資残高100億円

## 3. 温室効果ガス直接排出量の削減

- 店舗網の見直しやATM台数の適正化等により、政府目標である2013年度比▲46%を既に達成
- 今後の店舗計画においても従来の取組みを継続し、排出量水準の維持を目指す

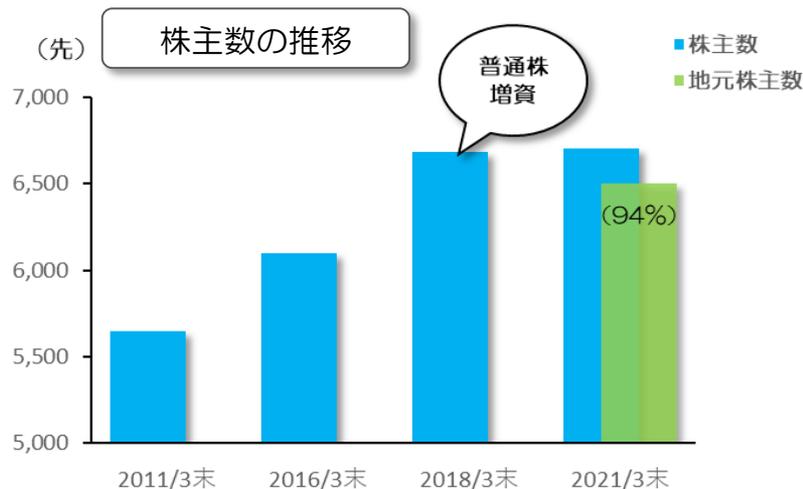
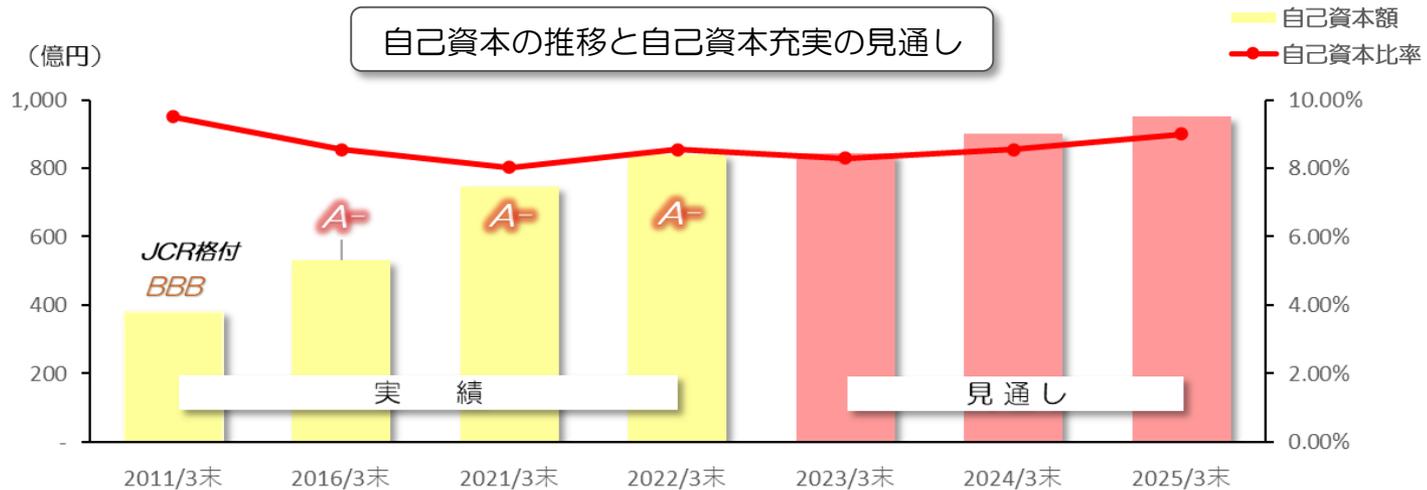


## 4. 完全ペーパーレス化への取組み

- DX等の業務改革により、本部内の会議資料や稟議書・議事録等を電子化
- 2022年1月から、西京銀行グループ各社の取締役会議事録の電子保存を開始

# 1 1. 地域のお役に立ち続ける経営基盤の確立と株主還元

- 経営の健全性の指標である自己資本については、山口県を中心とした地元のお客さまを中心に実施した増資や収益の積み上げにより、着実に増加しています。今中計を完遂し、収益力の積み上げにより自己資本を充実し、さらに安心して取引をいただける銀行を目指し、経営基盤の確立に努めます。
- 収益の地域還元の観点からも、株主優待制度を含めた株主還元策の充実にも努めます。



## 株主優待制度



3,000株以上お持ちで

せせらぎ  
(3,500円相当)



10,000株以上お持ちで

あかつき  
(10,000円相当)

山口県特産品  
満載の  
カタログギフト